

2024-2025 フィンドレー大学・福井県奨学生月例報告書 2月

作成者：若原きなり

作成日：2025年3月8日

雪が溶け、ようやく厳しい寒さが和らいできました。春学期もすでに半分が過ぎ、帰国の日が近づいています。先日、来年度の福井県奨学生と話す機会があり、時の流れを実感しました。今月のレポートでは、先月の授業の続きを報告します。

・ 防御術 (Self-Defence)

この授業では、レスリング場で実際に体を動かしながら、テコンドーを基礎とした防御術を学んでいます。これまでに、5つの攻撃型・防御型の技や、腕を掴まれた際の逃げ方などの技を習得しました。先日の中間考査では、これまでの学びを十分に発揮でき、高得点を取ることができました。今後は、さらに難易度の高い技に挑戦していく予定です。日本ではなかなか習う機会のない授業なので、しっかり身につけたいと思います。

・ ダンス (Dance)

その名の通り、ダンスを学ぶ授業です。私は日本の大学でダンスサークルに所属していましたが、フィンドレーに来てからダンスをする機会がなかったため、このクラスが本当に楽しいです。これまでにタップダンスやバレエを習い、未経験のジャンルでしたが、一通りのステップや基礎を学ぶことができました。これからはJAZZに挑戦します。初めて触れるジャンルに挑戦でき、少人数でワイワイと楽しく取り組める授業です

【スポーツ】

アメリカの大学には「アスリート」という制度があります。これは日本の体育会系の部活動に似ていますが、いくつかの違いがあります。選手たちはスポーツをすることで奨学金を得られ、大学側も学業と同じくらいスポーツを重視しています。平日に練習試合や遠征が行われることも多く、授業を公欠することもあります。また、キャンパス

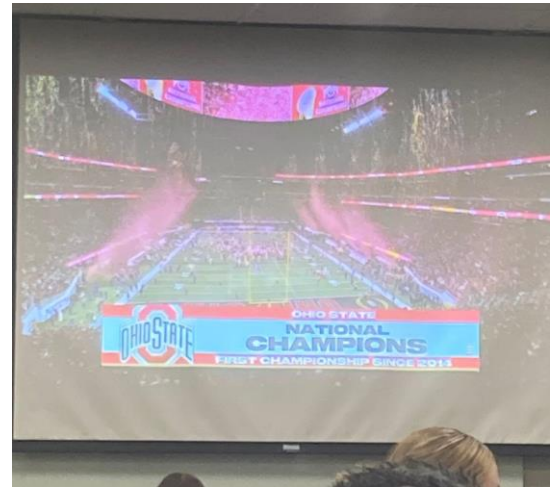


内には練習場や一般学生向けのジムが完備され、多くの学生が積極的に運動をしています。

私もこれまでにフィンドレー大学で開催されたバレーボール、バスケットボール、サッカー、アメリカンフットボール、陸上の試合を観戦しました。特に驚いたのは、どの試合も学生だけでなく、地元の人々も大勢応援に来ていることです。

また、アメリカで圧倒的な人気を誇るアメリカンフットボールの試合は、観戦イベントが開かれ、大学選手権やSuper Bowlを大画面で多くの学生と一緒に観戦しました。今年の大学選手権ではオハイオ大学が優勝し、街を歩くと「OHIO」と書かれた服を着ている人が多く、地域全体で地元のスポーツチームを応援している様子が印象的でした。

私自身も、フィンドレー大学でランニングクラブとフリスビークラブに参加しています。さらに、通常の授業に加えて、自由参加のキックボクシングやピラティスなどのエクササイズクラスもあり、スポーツを通じて多くの友人ができました。フィンドレーで運動習慣が戻ったので、日本に帰国後も継続したいと思います。



【福井県立大学 Health Program、福井大学教授訪問】

2月には、福井県立大学の看護・福祉の学生が約3週間フィンドレーを訪問しました。同じ福井県で医療系の分野に関わる者として、何度か交流する機会がありました。私は福井県立大学のサークルにも所属していたため、親近感を持って交流することができました。また、フィンドレー大学の友人たちも交え、一緒にゲームなどを楽しみました。

さらに、先日、福井大学国際地域学部の教授がフィンドレー大学を視察され、同じ福井大学の学生としてキャンパスを案内しました。福井県から遠く離れた場所で多くの福井の方々と交流する機会があり、フィンドレー大学と福井県のつながりを改めて実感しました。福井大学の教授から大好物の羽二重餅をお土産にいただき、アメリカでは手に入らないため、とても嬉しかったです。

【保育園ボランティア】

フィンドレーに来て以来、学校外での主な活動として、地元の保育園で週に2回ボランティアをしています。私は小児科に興味があるため、今回の留学を通して子どもと関わる活動ができることをとてもありがたく思っています。

今では、自分が担当するクラスの子どもたちだけでなく、他のクラスの子どもたちとも仲良くなり、毎回楽しく過ごしています。子どもの英語は大人よりも聞き取りづらいことがありますが、一緒に英語を学ぶ気持ちで接しています。最初に会った時よりも成長している姿を見て、子どもの吸収力の高さを実感します。あと数ヶ月でお別れするのは寂しいですが、最後まで楽しみたいと思います。



本報告書についてご質問、お問い合わせ等ございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡 ください。 wakaharak@findlay.edu